

[学会発表]

栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第一報）

～グループインタビュー実施結果～

積口順子¹⁾、小野知恵²⁾、大塚綾子³⁾、鈴木秀子¹⁾

（会津大学短期大学部¹⁾、福島県立喜多方病院²⁾、福島県南会津保健福祉事務所³⁾）

2006年10月27日

第53回日本栄養改善学会

つくば国際会議場

【はじめに】少子高齢化社会の到来と共に、生活習慣病の増大、高齢者等における低栄養問題、健康志向の高まり、健康・栄養情報や健康食品の氾濫による不適切な食品選択や食べ方の問題の発生と栄養・食生活の問題は多様化している。一方、健康増進法の制定、栄養士法の改正、栄養教諭制度の創設、食育基本法の制定、介護保険法の改正や診療報酬の改定と、栄養士・管理栄養士(以下、栄養士等)を取りまく社会環境は大きく変わり、求められる役割や業務内容も変わりつつある。そこで、今回我々は、栄養士等の職場環境や業務内容が、どのようにこれらの変化に対応し充実しつつあるのかを把握することを目的として、グループインタビューを実施した。【実施概要】(1)日時：平成16年11月27日(土)14:00～16:30、平成16年12月18日(土)9:30～12:00(2)場所：本学第3会議室(3)目的：栄養士等の職場環境や業務内容が、社会的ニーズや関係法令・制度の変化にどのように対応し充実しつつあるのかを把握する。(4)方法：各職域の栄養士等8名を対象としたフォーカスグループインタビュー【結果】現在の業務内容：材料管理・献立管理・衛生管理などの給食管理と、それに付随する事務処理、栄養指導などが中心で、職域、資格、置かれている立場により違いが見られた。法等改正後の職場内の変化(職場体制や業務内容)：病院や行政以外では大きな変化は見られず、逆に栄養士等自身が法改正等の情報把握や対応に消極的な意見があった。求められる役割(業務)、今後やりたい業務：個別栄養指導の充実、職域を超えた栄養士活動の充実、他職域・職種との連携、食育の重要性の普及など。の実現のために必要だと思うこと：十分な時間、スキルアップ、良好な人間関係、勇気、やりがい、ネットワークの構築、給食管理業務の充実、職場の理解など。【考察】グループインタビューの結果、栄養士等の業務の充実を阻む職場や本人自身の様々な問題が出された。職域や職場による勤務条件や業務内容等に違い、仕事に対する満足度や意欲や自信の違いの背景には、個人(資質や努力等)に帰因するものと、社会全体(職場組織、資格制度、養成課程等)に帰因するものとが推測された。

[学会発表]

栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第二報）

～ 栄養士等の就業状況と意識に関する調査結果～

鈴木秀子¹⁾、小野知恵²⁾、大塚綾子³⁾、積口順子¹⁾

(会津大学短期大学部¹⁾、福島県立喜多方病院²⁾、福島県南会津保健福祉事務所³⁾)

2006年10月7日

第53回日本栄養改善学会

つくば国際会議場

【はじめに】第一報より、栄養士・管理栄養士（以下、栄養士等）を取りまく社会環境の変化により、求められる役割や業務の内容は変わりつつあるが、実際は職場体制や業務内容に大きな変化は見られないことが示唆された。そこで、栄養士等の職場環境、業務内容、意識等についての実態調査の結果から、業務の充実のための阻害要因を検討した。【栄養士・管理栄養士の就業状況等に関するアンケート調査の概要】(1)対象：福島県栄養士会会津支部会員 210名(2)内容：栄養士・管理栄養士の就業環境、就業状況、意識等(3)時期及び方法：平成17年9月、郵送法によるアンケート調査(4)結果の概要 回収率：48.6% 対象者の概要：栄養士38名、管理栄養士62名、不明2名、平均栄養士勤務歴16.3±10.5年 採用職種名：管理栄養士免許取得者であって、「栄養士」での採用が27.4% 公的免許（管理栄養士）取得後の昇格・昇給制度の有無：「有」は25.4% 業務内容：現在は給食管理業務中心。職場から求められている（と思う）業務は「栄養ケア計画の作成・実施・評価」「栄養アセスメント」「栄養指導の計画作成・実施・評価」 勤務条件：現在の業務量が「多い・やや多い」は70.5%、「所定外勤務有り」は68.6%、昨年1年間の年次有給休暇取得率は43.5% 業務上の悩み：「専門的知識や技術」「業務量」「他部署との連携」 教育訓練の機会：OJT、精神的サポート体制が少なかった。 職場満足度、転職：「満足」が41.2%、「現在の職場を変えたい」が34.3%、「職場を変えた経験有り」が54.9%【考察】調査結果から、栄養士等が法・制度の改正や求められている（と思う）業務の内容を把握、認識しており、今後の業務拡充に対する意欲が感じられた。業務の充実のためには、専門性に基づいた十分な人員配置が必要であるが、現在の栄養士等の配置数は関係法等の配置規定により限定され、さらに、資格（栄養士・管理栄養士）による業務内容の明確な相違が見られず、それぞれの専門知識や技術を発揮できない状況にあった。また、職場環境として、業務量等勤務条件が厳しく、OJTによる実践的教育研修や精神的なサポートが不十分であることも業務の充実を阻害する要因となっていることが推測された。